

日本災害復興学会誌 復興 通巻 第22号 (Vol.8, No.4)
(Disaster Recovery and Revitalization Review, Vol.8, No.4)

編集：日本災害復興学会学会誌編集委員会
発行：日本災害復興学会
発行日：2020年3月11日

【目次】

特集 10周年記念号

I. 災害復興研究の展望

<経済学>

経済復興手法から復興政策評価の研究へ

永松 伸吾（関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科 教授／

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部 部門長）・・・ 3

災害復興と経済学

—学会展望と永松氏の貢献—

豊田 利久（神戸大学社会システムイノベーションセンター 教授）・・・ 7

<心理学>

災害復興の「空気」の研究

—グループ・ダイナミックスの視点から

宮本 匠（兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 講師）・・・ 9

手強い現代版「空気」との戦い

矢守 克也（京都大学防災研究所 教授）・・・ 13

<社会福祉学>

私の災害復興研究

災害復興を災害復興研究として扱わない

菅野 拓（大阪市立大学都市研究プラザ 特別研究員／

人と防災未来センターリサーチフェロー）・・・ 15

平時と災害時の連続性に目を向ける

菅野拓ワールドに寄せて

立木 茂雄（同志社大学 社会学部社会学科 教授／

人と防災未来センター上級研究員）・・・ 19

Ⅱ. 10周年記念事業報告

住民主体の復興まちづくりプロセスの言語化へのアプローチ

新潟県中越地震における「塩谷分校」10年の軌跡を追って

山口 洋典（立命館大学共通教育推進機構 准教授）・・・・・・・・・・ 23

「被災地—未災地」の交流勉強会

～茨城県大洗町と高知県黒潮町～

李 勇昕（京都大学防災研究所 特定研究員）・・・・・・・・・・ 25

日本災害復興学会創立10周年記念シンポジウムの開催報告

学会と日本損害保険協会の共催、「経済的備え」の重要性の啓発を図る

杓子尾 駿（一般社団法人 日本損害保険協会 主任）・・・・・・・・・・ 27

Ⅲ. 投稿

<福島県大熊町>県内・県外の避難先における「町民コミュニティ」形成事業

—情報格差の解消に向けた復興支援員の導入 2012.10-2014.09

鈴木 秀和（大熊町役場 福祉課介護係 係長）

吉田 耕平（首都大学東京 人文科学研究科 客員研究員）・・・・・・・・・・ 31

「復興五輪」から考える復興の主体としての「被災地」「被災者」

宮城県登米市長沼ボート場への会場変更をめぐる混乱に注目して

山崎 真帆（一橋大学大学院 社会学研究科 博士後期課程）・・・・・・・・・・ 42

復興地における絵本と音楽のコラボレーションイベントのチャリティーイベント実施者の研究

中野 修（立命館大学大学院 人間科学研究科 博士課程後期課程）・・・・・・・・ 51

編集後記・学会誌編集委員会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58